PHILIPS

Business Monitor

5000 Series

24B1U5301H

JA

ユーザーマニュアル

Register your product and get support at www.philips.com/welcome

目次

1. **重要 1**
   - 1.1 安全のための注意事項とメンテナンス 1
   - 1.2 表記の説明 2
   - 1.3 製品と梱包材料の廃棄 3

2. ディスプレイをセットアップする .. 4
   - 2.1 取り付け 4
   - 2.2 ディスプレイを操作する 7
   - 2.3 内蔵Windows Hello™ ポップアップウェブカメラ 11
   - 2.4 MultiClient Integrated KVM 13
   - 2.5 ノイズキャンセリング 14
   - 2.6 MultiView 14
   - 2.7 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし 17

3. 画像の最適化 18
   - 3.1 SmartImage 18
   - 3.2 SmartContrast 19
   - 3.3 光センサー 20

4. 電源供給およびスマート電源 21

5. デイジーチェーン機能 22

6. コンピューター視覚症候群 (CVS) を防止するための設計 24

7. PowerSensor™ 25

8. 技術仕様 26
   - 8.1 解像度とプリセットモード 29

9. 電源管理 30

10. カスタマサポートと保証 31
    - 10.1 Philips のフラットパネルディスプレイ画素欠陥ポリシー 31
    - 10.2カスタマサポートと保証 33

11. トラブルシューティング & FAQ .. 34
    - 11.1 トラブルシューティング 34
    - 11.2 一般FAQ 35
    - 11.3 Multiview FAQ 38

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philipsモニタを使用するユーザーを対象にしています。モニタを使用する前に、本ユーザーズマニュアルをよくお読みください。モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電気的障害、機械的災害につながる可能性があります。

コンピュータのモニタを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

取り扱い

- モニターを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。 これらの環境に長時間さらされると、モニタが変色したり損傷する結果を招きます。
- ディスプレイにオイルが付着しないようにしてください。オイルは、ディスプレイのプラスチック製カバーを損傷させる可能性があります。その場合、保証は無効になります。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、モニタの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- モニタの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニタの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。 電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）
- 指定された電源で動作させてください。必ず指定の電源でモニターを操作してください。誤った電圧で使用すると故障の原因となり、火災や感電の原因となります。
- ケーブルを保護してください。電源ケーブルや信号ケーブルを引っ張ったり曲げたりしないでください。モニターやその他の重いものをケーブルの上に置かないでください。ケーブルが損傷した場合、火災や感電の原因となることがあります。
- 操作中、モニタに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。
- パネルがベゼルから外れるなどの損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。 -5度下向き傾き最大角度を超え、ディスプレイが損傷した場合、保証の対象外となります。
- 操作または輸送中、またLCDを強く打ったり落としたりしないでください。
- USB タイプ C ポートは、IEC 62368-1 または IEC 60950-1 に準拠する防火エンクロージャー付きの指定された機器にのみ接続することができます。
- モニターの過度の使用は目の不快感を引き起こす可能性があります。ワークステーションにおいて、あまり頻繁ではない長い休憩よりも短い休憩をとることをお勧めします。例えば、50 ～ 60 分の連続画面使用後の 5 ～ 10 分の休憩は、2 時間ごとの 15 分間の休憩よりも効果が高い可能性があります。 一定時間画面を使用している間、以下を行い、目の疲れから目を解放するようにしてください：
  - 長時間画面を注視した後は、さまざまな距離を見てみましょう。
  - 作業中に意識的に瞬きをしてみましょう。
  - ゆっくりと目を閉じ、目をキョロキョロさせて、目をリラックスさせてみましょう。
  - 画面をあなたの座高にあわせて、適切な高さと角度にしてみましょう。
  - 明るさとコントラストを適切なレベルに調整してみましょう。
  - 環境照明を画面の明るさに似た明るさに調整し、蛍光灯やあまり光を反射しない表面を避けましょう。
  - 症状がある場合は、かかりつけの医師に相談してみましょう。

メンテナンス
- モニタを損傷の可能性から保護するために、LCDパネルに過剰な圧力をかけないでください。 モニタを動すときは、フレームをつかんで持ち上げてください。またLCDパネルに手や指を置いてモニタを持ち上げないでください。
- オイルを主成分とする清浄液は、プラスチック製カバーを損傷させる可能性があります。その場合、保証は無効になります。
- 長時間使用しない場合は、電源ののプラグを抜いてください。
- 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。 落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してモニタを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、モニタを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- モニタが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- モニタに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でモニタを保管したり、使用したりしないでください。
- モニタの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る環境でモニタを使用してください。
  - 温度：0° C ～ 40° C 32° F ～ 104° F
  - 湿度：20% ～ 80% RH

焼き付き / ゴースト像に関する重要な情報
- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。 静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。
- 「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。 ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

⚠ 警告
スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

修理
- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）
- 輸送情報については、「技術仕様」 を参照してください。
- 直射日光下の車内 / トランクにモニタを放置しないでください。

注
モニタが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からない場合、カスタマケアセンターにお問い合わせください。

1.2 表記の説明
次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告
本書を通して、テキストのブロックkにはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

注
このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

注意
このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

⚠ 警告
このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

注

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器-WEEE

This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

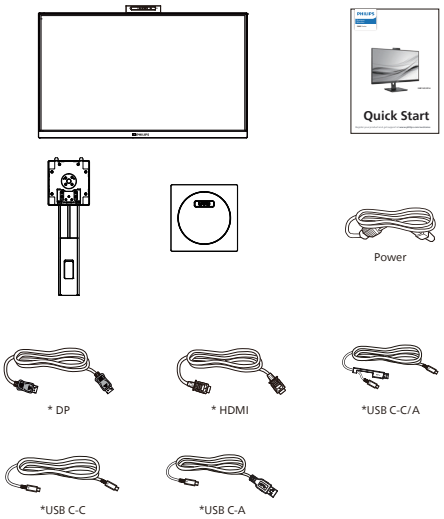
To learn more about our recycling program please visit

http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html

2. ディスプレイをセットアップする

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの

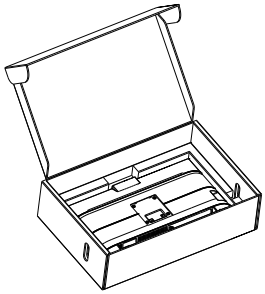


注

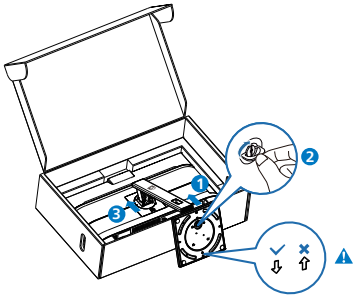
販売する国・地域により付属されるケーブルが異なることがございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

2 ベースの取り付け

1. モニタ面を下にして、滑らかな面に置きます。画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。



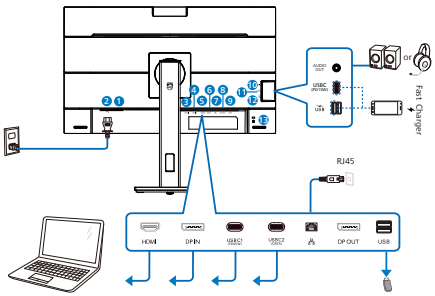
2. 両手でスタンドを持ちます。
   (1) ベースをスタンドにそっと取り付けます。
   (2) 指を使ってベースの底部にあるネジを締めます。
   (3) VESA マウント部の掛け金がロックされるまでゆっくりとスタンドを取り付けます。

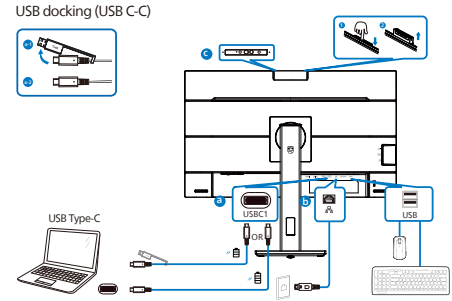


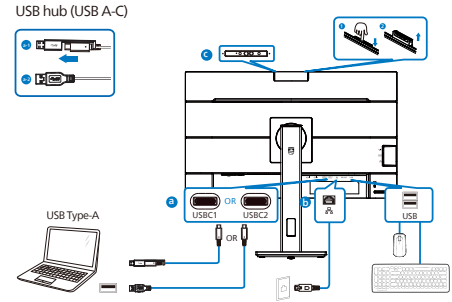
注

ベースの矢印を前方に向けて固定し、支柱にしっかりと固定します。

3 PCに接続する







❶ 電源スイッチ
❷ AC 電源入力
❸ HDMI 入力
❹ DisplayPort 入力
❺ USBC1 (最大 90W の電源)
❻ USBC2 (データ)
❼ RJ45 入力
❽ DisplayPort オ出力
❾ USB ダウンストリーム
❿ オーディオ (入力 / 出力) : オーディオ出力 / マイク入力コンボジャック
⓫ USBC (最大 15W の電源)
⓬ USB ダウンストリーム /USB 高速充電器
⓭ Kensington ロック

PCに接続する

1. 電源コードをディスプレイ背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. ディスプレイ信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとディスプレイの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとディスプレイの電源をオンにします。ディスプレイに画像が表示されたら、接続は完了です。
6. DisplayPort オ出力コネクターを使用する場合はゴム製プラグを取り外してください。

4 RJ45 用 USB C ドライバのインストール

USB C ドッキングディスプレイを接続する前に、必ず、USB C ドライバをインストールしてください。

Philips の Web サイトのサポートページにアクセスして、「LAN ドライバー」をダウンロードできます。

インストール手順に従ってください:

1. お使いのシステムに適合する LAN ドライバをインストールしてください。
2. インストールするドライバを再度確認し、Windows の指示に従い、インストールを進めてください。
3. インストールに成功すると「成功」と表示されます。
4. インストールを完了後、コンピュータを再起動してください。
5. プログラムインストール済みリストに「Realtek USB イーサネットネットワークアダプタ」が表示されるようになりました。
6. 最新の更新されたドライバが利用可能であることを確認するため、上記の Web リンクを定期的に確認することをお勧め

します。

注

必要に応じて、MACアドレス複製ツールについては、Philipsのサービスホットラインにお問い合わせください。

5 USB ハブ

国際的なエネルギー標準に準拠するために、このディスプレイの USB ハブ / ポートはスタンバイモードとオフモードの間、無効になります。

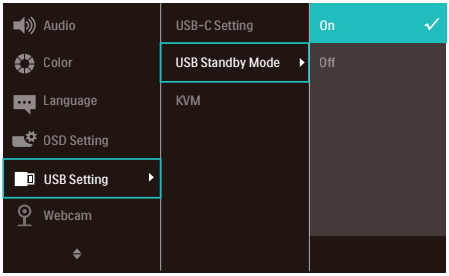
この状態のとき、接続されているUSBデバイスは動作しません。

USB機能をずっと「オン」の状態にするには、OSDメニューに移動し、「USB待機モード」を選択し、これを「オン」状態に切り替えます

6 充電用USB

このディスプレイには USB ポートがあり、USB 充電など、標準的な電力を出力できます (パワーアイコン で識別可能)。そのポートからスマートフォンを充電したり、外付け HDD に電力を供給したりできます。この機能を利用するには、ディスプレイの電源を常に入れておく必要があります。

一部の Philips ディスプレイでは、"スリープ" / モードモードに入ると、デバイスの給電 ・ 充電が停止することがあります (白のパワー LED が点滅します)。その場合、OSD メニューに入り、"USB Standby Mode" を選択し、"オン" に切り替えてください (初期設定はオフです)。これで、モニターがスリープ / モード モードに入っても、USB 給電 ・ 充電機能が維持されます。



注

電源スイッチでモニターの電源を切った場合、すべての USB ポートがオフになります。

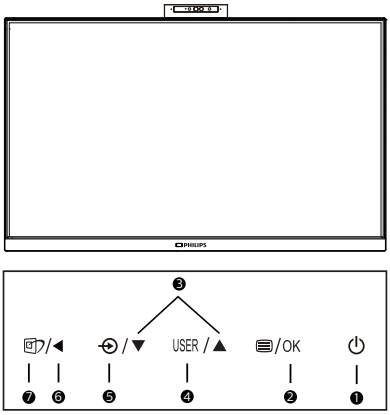
警告

ワイヤレスマウス、キーボード、ヘッドホンなどの USB 2.4 GHz ワイヤレスデバイスは、USB 3.2 以降のバージョンの高速信号デバイスにより干渉を受け、無線伝送の効率が低減する可能性があります。これが発生した場合は、次の方法を試して、干渉の影響を低減させてください。

- USB 2.0 レシーバーを USB 3.2 以降のバージョンの接続ポートから離してください。
- 標準の USB 延長ケーブルまたは USB ハブを使用して、ワイヤレスレシーバーと USB 3.2 以降のバージョンの接続ポートとの間の空間を広げてください。

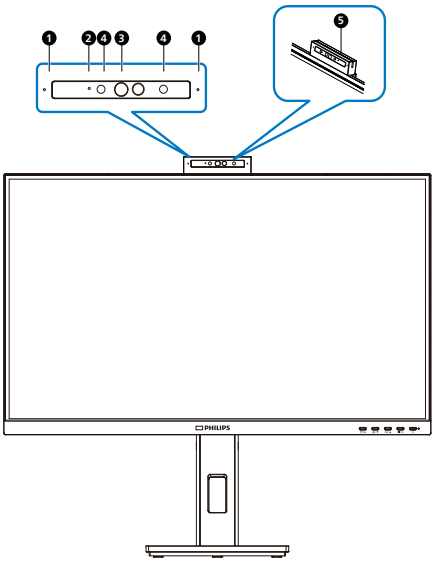
2.2 ディスプレイを操作する

1 コントロールボタンの説明



❶	⏻	電源のオン / オフを切り換えます。
❷	/OK	OSD メニューにアクセスします。 OSD 調整を確認します。
❸	▲▼	OSD メニューを調整します。
❹	USER	ユーザーのお気に入りキー。OSD から自分専用のお気に入りの機能をカスタマイズして、「ユーザーキー」にします。
❺		信号入力ソースを変更します。
❻	◀	前の OSD レベルに戻ります。
❼		SmartImage ホットキー。次の 9 つのタイプから選択します：EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode（LowBlue モード）、Off(オフ)。

2 ウェブカメラ

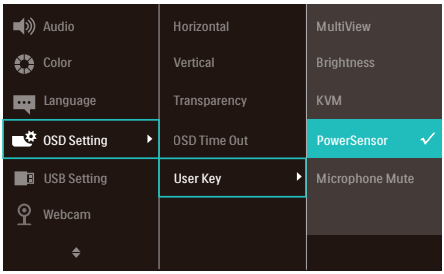


❶	マイク
❷	ウェブカメラの動作ライト
❸	5.0 メガピクセルウェブカメラ
❹	顔識別の IR
❺	ウェブカメラライト

3 独自の「USER(ユーザー)」キーをカスタマイズする

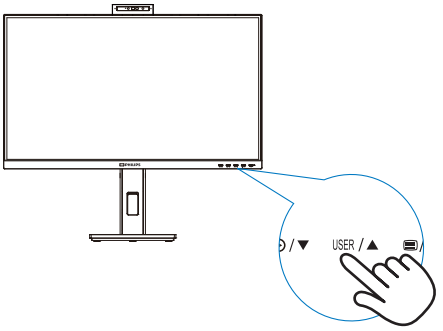
このホットキーでは、お気に入りの機能キーをセットアップできます。

1. 前面ベゼルの ☰ ボタンを押して、OSDメニュー画面に入ります。



2. ▲または▼ボタンを押してメインメニュー[OSD Settings] (OSD設定) を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して[User Key] (ユーザー) を選択し、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して、次のお気に入りの機能を選択します。
5. OKボタンを押して選択を確認します。

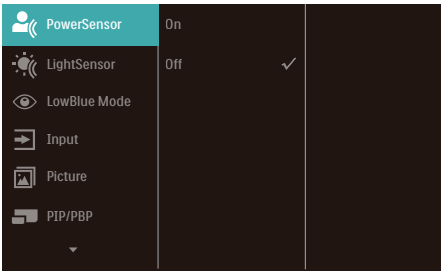
前面ベゼルでホットキーを直接押すことができるようになりました。事前選択された機能のみがクイックアクセス用に表示されます。



4 オンスクリーンディスプレイの説明

オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは

オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips LCD ディスプレイに装備されています。これにより、ユーザーは画面の指示に従って直接画面パフォーマンスを調整したりディスプレイの機能を選択することができます。OSD インターフェースは、次のように表示されます。



コントロールキーの基本および簡単な指示

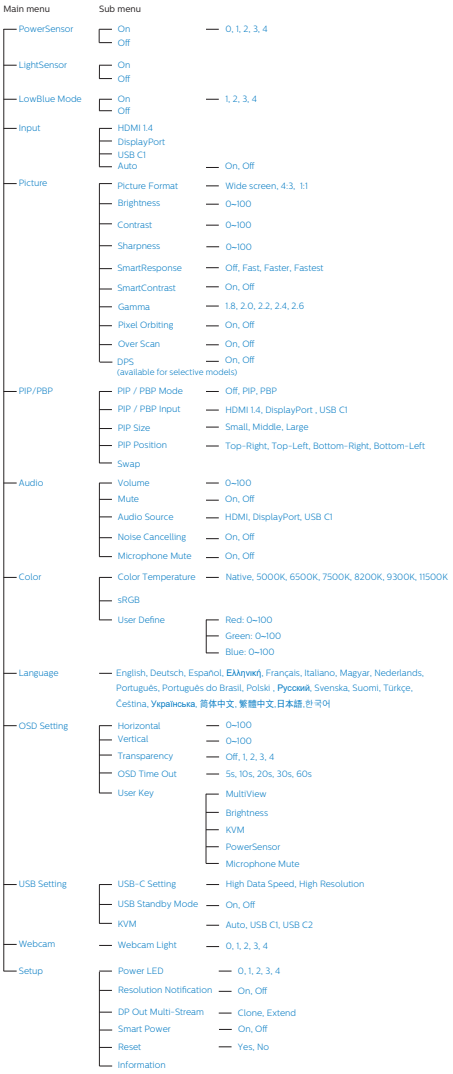
OSD では、ディスプレイのフロントベゼルの ▼▲ ボタンを押してカーソルを動かしたり、OK ボタンを押して選択または変更を確認できます。

OSDメニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。

注

このディスプレイには ECO 設計として "DPS" が導入されています。初期設定は「オン」 モードです。画面がほの暗くなります。最適な明るさを得るには、OSDに入り、"DPS" を 「オフ」 モードに設定します。



5 解像度アラート

このモニタは、そのネーティブ解像度1920 x 1080で最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。モニタが異なる解像度で作動しているとき、画面にアラートが表示されます。ディスプレイは1920 x 1080 の解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。

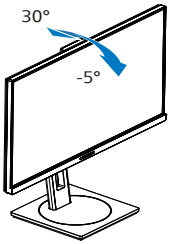
解像度アラートの表示は、OSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューのSetup（セットアップ）からオフに切り替えることができます。

注

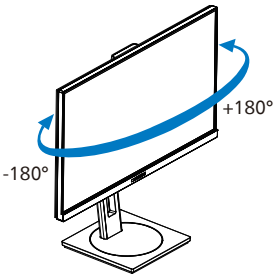
1. このモニターのUSB C入力のUSBハブのデフォルト設定は、「High Data Speed」です。サポートする最大解像度は、グラフィックスカードの能力に依存します。お使いのPCがHBR 3に対応していない場合は、USB設定で、High Resolutionを選択してください。サポートされる最大解像度は1920 x 1080 @75Hzになります。 ボタン > USB設定 > USB > High Resolutionを押します
2. イーサネット速度が遅いと感じる場合は、OSD メニューに進み、最大 1G の LAN 速度をサポートする High Data Speed を選択してください。

6 向度調整

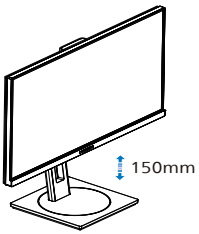
チルト



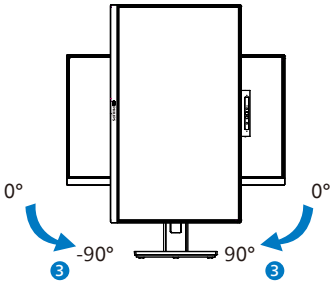
スイベル



高さ調節



ピボット



警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを -5 度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。 ベゼルのみを持つようにしてください。

2.3 内蔵Windows Hello™ ポップアップウェブカメラ

1 内蔵Windows Hello™ ポップアップウェブカメラとは？

Philipsの革新的かつ安全なウェブカメラは、必要なときにポップアップし、使用していないときにモニタにしっかりと収まります。このウェブカメラには、Windows Hello顔認識用の高度なセンサーも装備されており、パスワードよりも3倍も速く2秒以内にWindowsデバイスに簡単にログインできます。

2 Windows Hello™ ポップアップウェブカメラを有効にする方法

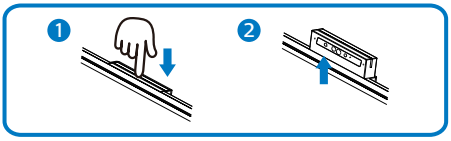
Windows Helloウェブカメラ搭載Philipsモニタは、PCからUSBケーブルをこのモニタの「USB C1」ポートまたは「USB C2」ポートに接続するだけで有効になります。その後、OSDメニューの「KVM」セクションから選択してください。Windows Helloウェブカメラは、Windows10のWindows Hello設定が完了している限り、動作可能です。設定については、次のWindowsの公式サイトを参照してください：https://support.microsoft.com/help/4028017/windows-learn-about-windows-hello-and-set-it-up

Windows Helloの顔認識を設定するには、Windows 10システムが必要です。Windows 10よりも低いエディションまたはMac OSでは、ウェブカメラは顔認識機能なしで動作することができます。Windows7では、このウェブカメラを有効にするために、ドライバが必要です。

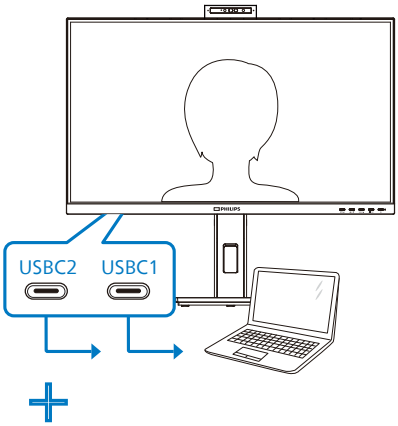
オペレーティングシステム	ウェブカメラ	Windows Hello
Win7	あり	なし
Win8	あり	なし
Win8.1	あり	なし
Win10	あり	あり
Win11	あり	あり

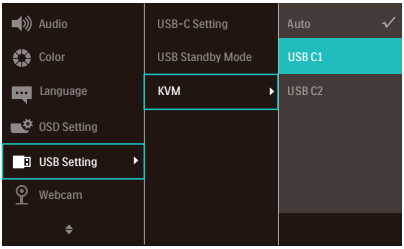
設定については、次の手順に従ってください：

1. このモニタの上部にある内蔵ウェブカメラを押して、前面に回します。

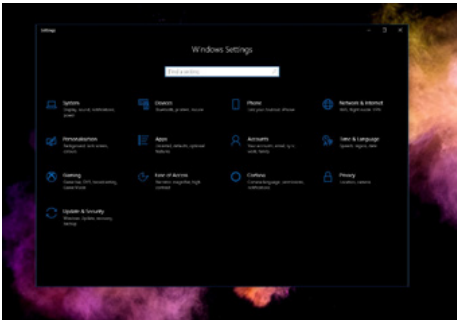


2. お使いのPCのUSBケーブルをこのモニタの「USB C1」または「USB C2」ポートに接続します



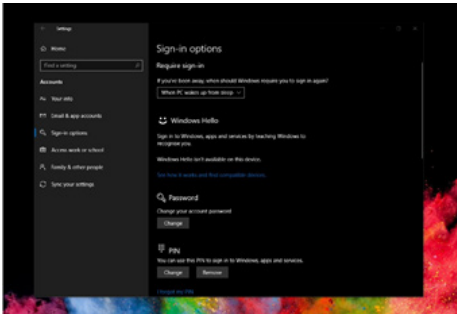


3. Windows 10でのWindows Hello用の設定
   a. 設定アプリで、**Account（アカウント）**をクリックします。

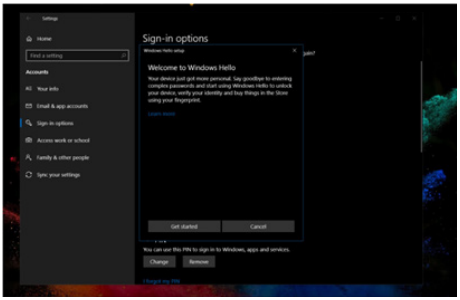


b. サイドバーの **Sign-in Option（サインインオプション）** をクリックします。

c. Windows Helloを使用する前にPINコードを設定する必要があります。これを追加すると、Helloのオプションがロック解除されます。

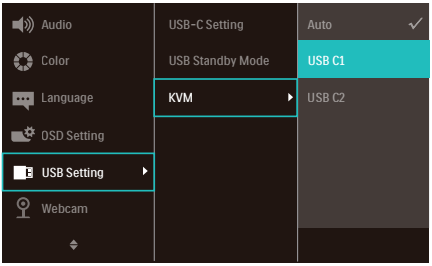


d. Windows Helloで設定できるオプションが表示されます。



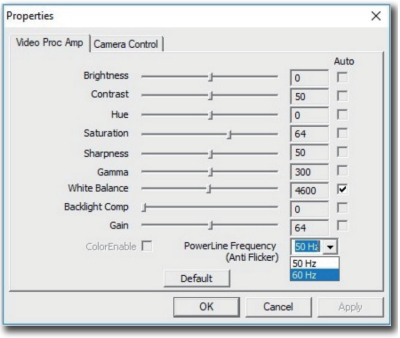
e. 「Get started」（開始）をクリックします。設定は完了です。

4. このモニタの「USB C1」ポートからUSBケーブルを接続する場合は、「KVM」レイヤーの下に「USB C1」を適切に選択するために、OSDメニューを開いてください。



注

1. 最新の情報にアクセスするには、Windowsの公式サイトに常にアクセスしてください。EDFUの情報は、予告なしに変更される場合があります。
2. 地域により電圧が異なるため、電圧設定が不一致の場合、このウェブカメラを使用する際にリップルが発生する可能性があります。お住まいの地域の電圧と同じ電圧に設定してください。
3. このモニターには、ウェブカメラの使用中に点灯する ウェブカメラアクティブビーコンが搭載されています。明るさのオプションは 4 つあります。0 = オフから 4 = 高までで、デフォルトは 1 です。OSDボタン を押してオンスクリーンディスプレイメニューに入り、[ウェブカメラ] > [ウェブカメラライト] の下で輝度レベルを調整できます。
4. ウェブカメラのマイクミュート機能は、Teams、Skype アプリを通じて有効にする必要があります。



2.4 MultiClient Integrated KVM

1 MultiClient Integrated KVMとは?

MultiClient Integrated KVMスイッチを使用すると、1台のモニタでキーボード・マウスを2つ設定してPCを制御できます。便利なボタンにより、ソース間をすばやく切り替えることができます。

2 MultiClient Integrated KVMを有効にする方法

内蔵のMultiClient Integrated KVMを使用することで、OSDメニューの設定により、2つのデバイス間で周辺機器をすばやく切り替えることができます。

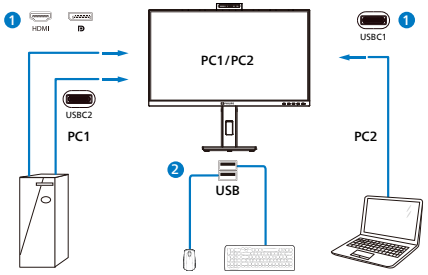
USBCおよびHDMIまたはDPを入力として使用し、USB CをUSBアップストリームとして使用します。

設定については、次の手順に従ってください。

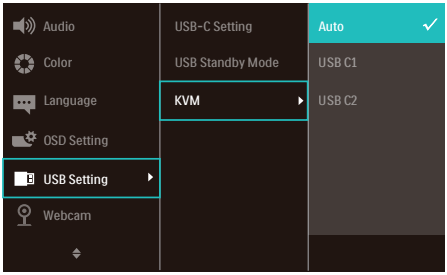
1. デュアルデバイスのUSBアップストリームケーブルをこのモニタの「USBC1」ポートと「USBC2」ポートに同時に接続します。

ソース	USB ハブ
HDMI or DP	USB C2
USBC1	USB C1

2. 周辺機器をこのモニタのUSBダウンストリームポートに接続します。



3. OSDメニューを開きます。KVM layer(KVMレイヤー）に進み、「自動」「USB C1」または「USB C2」を選択して、周辺機器の制御をあるデバイスから別のデバイスに切り替えます。1セットの周辺機器を使用して制御システムを切り替えるために、このステップを繰り返します。



DPおよびHDMIを入力として使用し、USB CをUSBアップストリームとして使用します。

設定については、次の手順に従ってください。

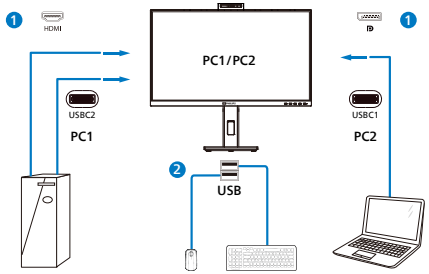
1. デュアルデバイスのUSBアップストリームケーブルをこのモニタの「USB C1」ポートと「USB C2」ポートに同時に接続します。

PC1：USB C2をアップストリームとして、動画および音声の転送用にHDMIまたはDPケーブルを使用します。

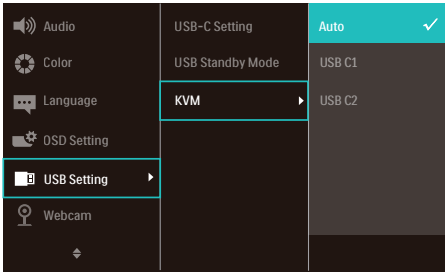
PC2：USB C1をアップストリーム（USB C-A）として、DPまたはHDMIケーブルを動画および音声の転送用に使用します。

ソース	USB ハブ
HDMI or DP	USB C2
DP or HDMI	USB C1

2. 周辺機器をこのモニタのUSBダウンストリームポートに接続します。



3. OSDメニューを開きます。KVM layer(KVMレイヤー）に進み、「自動」「USB C1」または「USB C2」を選択して、周辺機器の制御をあるデバイスから別のデバイスに切り替えます。1セットの周辺機器を使用して制御システムを切り替えるために、このステップを繰り返します。

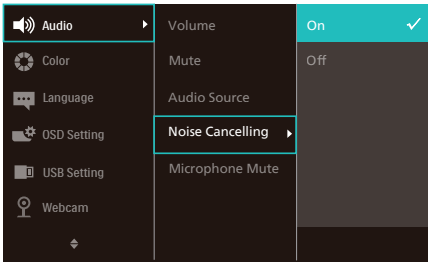


注

ま た、PBP モ ー ド で「MultiClient Integrated KVM」を採用することもできます。PBPを有効にすると、このモニタに同時に2つの異なるソースが投影されます。「MultiClient Integrated KVM」 は、1セットの周辺機器を使用して、2つのシステム間をOSDメニュー設定で制御することにより、操作性を向上させます。上記の手順3に従ってください。

2.5 ノイズキャンセリング

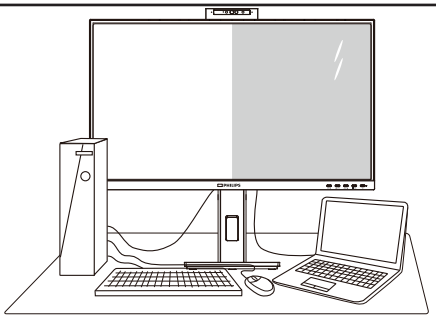
このモニターはノイズキャンセリング機能を備えています。ビデオ会議中にUSBC1/USBC2経由で接続すると、モニターは自動的に人間の音をフィルタリングします。この機能は、OSDメニューのノイズキャンセリング（デフォルト=オン）でオフにできます。



注

複数のデバイスがディスプレイに接続されている場合、両方が同時にスピーカーから再生される場合があります。非プライマリデバイスのオーディオ出力を無効にすることをお勧めします。

2.6 MultiView



1 これは何ですか？

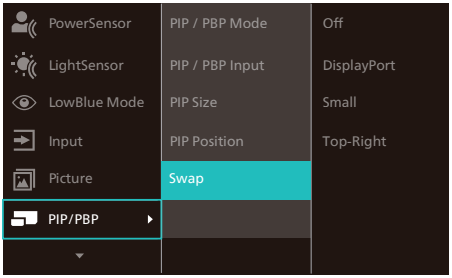
Multiviewにより、アクティブなデュアル接続が可能になり、デスクトップPCやノートPCのような複数のデバイスを同時に並べて使用できるようになるため、複雑なマルチタスク作業がやりやすくなります。

2 必要な理由は？

超高解像度Philips MultiViewディスプレイでは、職場でも家庭でも快適なコネクターを享受できます。このディスプレイを使用することで、1つの画面で複数のコンテンツソースを簡単にお楽しみになれます。例: 小さなウィンドウでオーディオケーブル(オプション)をオンにしたままライブニュースビデオを見ながら、最新のブログに取り組んだり、ウルトラブックからExcelファイルを編集しながら、安全な会社のイントラネットにログインしてデスクトップからファイルにアクセスしたいと思ったことがあるかもしれません。

3 OSDメニューでMultiViewを有効にするにはどうすればいいのですか？

1. 前面ベゼルの ☰ ボタンを押して、OSDメニュー画面に入ります。



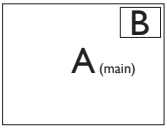
2. ▲または▼ボタンを押してメインメニューを選択し [PIP / PBP]、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して [PIP / PBP Mode(PIP / PBP モード)] を選択し、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して [PIP] または [PBP] を選択します。
5. 前に戻って [PIP / PBP Input(PIP / PBP 入力)]、[PIP Size(PIP サイズ)]、[PIP Position(PIP 位置)]、[Swap(スワップ)] を設定できるようになりました。
6. OKボタンを押して選択を確認します。

4 OSD メニューの MultiView

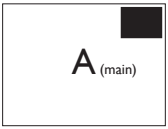
- PIP / PBP Mode (PIP / PBP モード): MultiView には、次の 2 つのモードがあります : [PIP] および [PBP]。

[PIP]: ピクチャインピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを開きます。

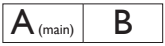


サブソースが検出されない場合:



[PBP]: ピクチャバイピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。



サブソースが検出されない場合:

注

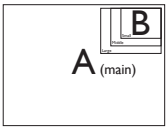
PBP モードでは、黒い帯が画面の上部と下部に正しいアスペクト比を表示します。フルスクリーンを並べて表示する場合は、デバイスの解像度を注目解像度に合わせて調整します。このデバイスには、2 つのデバイスソーススクリーンプロジェクトが黒い帯なしで並べて表示されます。アナログ信号は、PBP モードにおいて、この全画面表示をサポートしていないことに注意してください。

- PIP / PBP Input (PIP / PBP 入力): サブディスプレイソースとして、次の 3 つの異なるビデオ入力を選択できます。 [HDMI 1.4]、 [DisplayPort]]、[USB C1]。

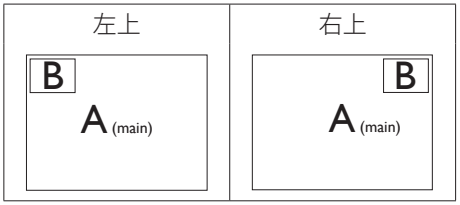
メイン/サブ入力ソースの互換性については、以下の表を参照してください。

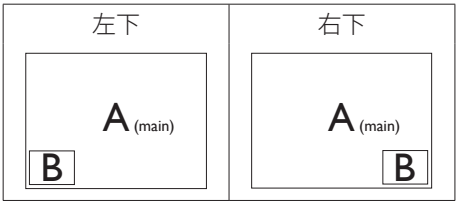
MultiView		サブソースの可能性(xl)		
	入力	HDMI	DisplayPort	USBC1
メインソース (xl)	HDMI	●	●	●
	DisplayPort	●	●	●
	USBC1	●	●	●

- PIP Size(PIP サイズ): PIP がアクティブになっているとき、次の 3 つのサブウィンドウサイズを選択できます。[Small(小)]、[Middle(中)]、[Large(大)]。



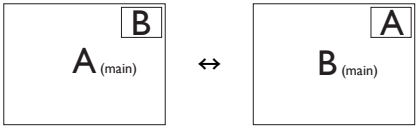
- PIP Position(PIP 位置): PIP がアクティブになっているとき、次の 4 つのサブウィンドウ位置を選択できます。





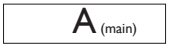
- **Swap(スワップ):** ディスプレイでスワップされたメインピクチャソースとサブピクチャソース。

  [PIP]モードのAとBソースのスワップ:



  [PBP]モードのAとBソースのスワップ:

- **Off(オフ):** MultiView 機能を停止します。



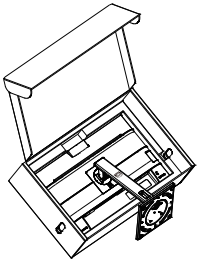
注

1. スワップ機能を実行すると、ビデオとそのオーディオソースが同時にスワップされます。
2. HDR および DP 出力マルチストリームは、PIP/PBP（マルチビュー）では同時に動作しません。

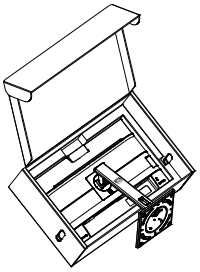
2.7 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし

破損や負傷を防ぐため、モニタベースの取り外しを始める前に下記の指示に従ってください。

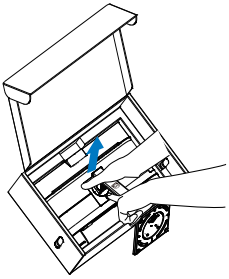
1. ディスプレイを画面を下にして平らな場所に置きます。このとき、画面にひっかき傷が付いたり損傷しないように、柔らかい布などを敷いてください。



2. モニタ面を下にして、滑らかな面に置きます。 画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。モニタスタンドを持ち上げます。

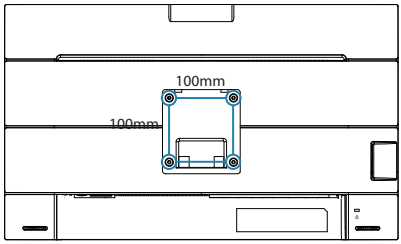


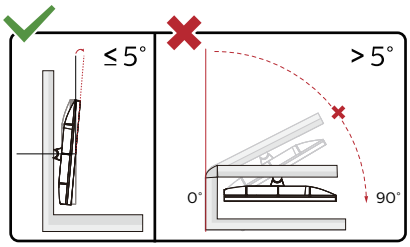
3. リリースボタンを押したまま、スタンドを傾けて、スライドしてはずします。



注

の取り付けインターフェースを受け入れます。VESA取り付け用ネジM4。壁取り付け設置については、必ず製造元に問い合わせてください。





* ディスプレイのデザインは、これらの図とは異なる場合があります。

警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを -5 度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。ベゼルのみを持つようにしてください。

3. 画像の最適化

3.1 SmartImage

1 これは何ですか?

SmartImageはさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされて、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImageは最適化された最高のモニタパフォーマンスを発揮します。

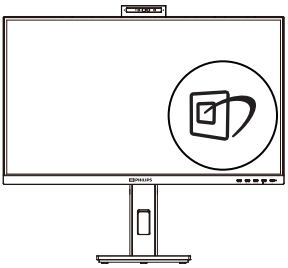
2 必要な理由は?

どのような種類のコンテンツも、極めて明瞭かつ快適な状態で鑑賞できることが求められます。SmartContrast はコントラストをダイナミックに制御してバックライトを調整し、クリアでくっきりした見やすいゲームとビデオ画像を実現します。また、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。

3 これは、どのように作動するのですか?

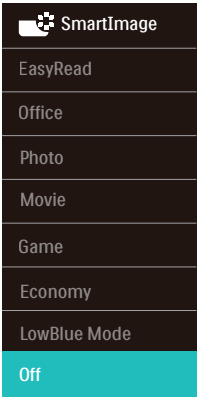
SmartImageは画面に表示されたコンテンツを分析するPhilips独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImageは画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては1つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

4 SmartImageはどのようにして有効にするのですか?



1. を押して画面ディスプレイでSmartImageを起動します。
2. ▼ ▲ を押し続けると、EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode(LowBlueモード)、Off(オフ)。
3. 画面ディスプレイのSmartImageは5秒間画面に表示されています。または「OK」を押して確認することもできます。

次の9つのタイプから選択します:EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode(LowBlueモード)、Off(オフ)。



- EasyRead: PDF電子書籍のようなテキストベースのアプリケーションの読み取りの向上に役立ちます。テキストコンテンツのコントラストと境界のシャープネスを上げる特殊なアルゴリズムを使用することで、モニタの輝度、コントラスト、色温度が調整され、ディスプレイはストレスなしに読み取ることができるように最適化されます。
- Office(オフィス): テキストを強化して輝度を抑えることで読みやすさを向上し、目の疲れを和らげます。スプレッドシート、PDFファイル、スキャンされた記事、その他の一般的オフィスアプリケーションで作業しているとき、このモードは読みやすさと生産性を大幅に向上します。
- Photo(写真): このプロファイルは彩度、ダイナミックコントラスト、シャープネス強化を組み合わせて、写真やその他の画像を躍動感にあふれる色でくっきりと表示します。アーティファクトが生じたり色がぼやけることはありません。
- Movie(動画): 輝度を上げ、彩度、ダイナミックコントラスト、レーザーシャープネスを深め、ビデオの暗い領域を細部まで表示します。明るい領域の色落ちはなく、ダイナミッ

クな自然値を維持して究極のビデオ表示を実現します。

- Game(ゲーム): 駆動回路上でオンにすると画面で動く物体の応答時間が速くなり、ぎざぎざの縁が減少して、明るいスキームや暗いスキームのコントラスト比が向上します。このプロファイルはゲーマーに最高のゲーム体験を提供します。
- Economy(エコノミー): このプロファイルの下で、輝度、コントラストが調整され、毎日のオフィスアプリケーションを適切に展示するためにバックライトを微調整して、消費電力を下げます。
- LowBlue Mode(LowBlueモード): 目に易しい生産性に対するLowBlueモード研究は、紫外線には目の損傷を引き起こす可能性があること、LEDディスプレイから放射される短波長の青色光線には、目の損傷の原因となり、時間をかけて視力に影響を与える可能性があることを示しています。 幸福のために開発されたPhilips LowBlueモード設定は、有害な短波青色光を低減するためにスマートなソフトウェア技術を使用しています。
- Off(オフ): SmartImageで最適化はされません。

注

TUVローブルーライト認定に準拠するPhilipsローブルーモード。このモードは、ホットキーを押した後、上矢印キーを押してローブルーモードを選択すると有効になります。上記のSmartImage選択手順を参照してください。

3.2 SmartContrast

1 これは何ですか?

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、モニタのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することでクリアで、くっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

2 必要な理由は?

あなたはどのような種類のコンテンツに対しても、きわめて明瞭な映像が表示され快適な状態で鑑賞できることを求めています。 SmartContrastはコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、明るいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。 モニタの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、モニタの寿命を延ばすとができます。

3 これは、どのように作動するのですか?

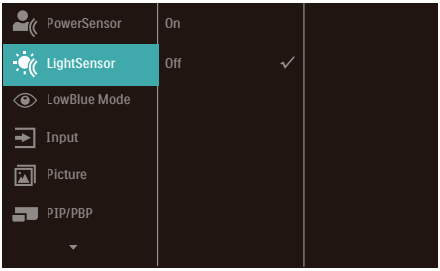
SmartContrastをアクティブにするとき、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整しバックライト強度を制御します。 この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

3.3 光センサー

1 これは何ですか？

光センサーは、画質設定を自動的に調整するために入力信号を測定・分析して、画質を最適化するユニークでインテリジェントな方法です。光センサーは、室内光条件に応じて画像の明るさを調整するためにセンサーを使用しています。

2 光センサーをどのようにして有効にするのですか？



1. 前面ベゼルの ボタンを押して、OSDメニュー画面に入ります。
2. ▲または▼ボタンを押してメインメニュー[LightSensor(光センサー)]を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して、光センサーのオン/オフを切り替えます。

4. 電源供給およびスマート電源

このモニターから、互換性のあるデバイスに最大90Wの電力を供給することができます。

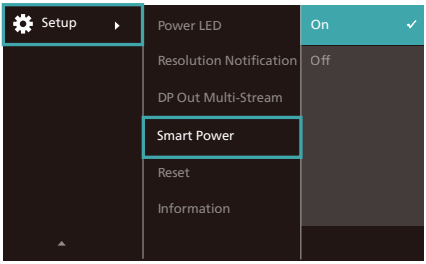
1 スマート電源とは?

スマート電源とは、さまざまなデバイスに対して、柔軟な電源供給オプションを提供するPhilips独自の技術です。1本のケーブルのみで、高性能ノートパソコンを再充電できるため有用です。

モニターは、スマート電源を使用して、USBC1ポートを通して、最大90Wの電力を供給することができます（標準は65Wです）。

デバイスの損傷を防止するため、スマート電源は、電流の引き込みを制限する保護を有効にします。

2 スマート電源を有効にする方法は?



1. OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。
2. 上または下に動かして、メインメニュー[Setup（セットアップ）]を選択してから、右に動かして確定します。
3. 上または下に動かして、[Smart Power（スマート電源）]をオンまたはオフにします。

3 USBC1ポートを経由する電源供給

1. デバイスをUSBC1ポートに接続します。
2. [スマート電源]を有効にします。
3. [スマート電源]が有効であり、USBC1が電源供給用に使用されている場合、最大電源供給はモニターの輝度値により異なります。このモニターからの電源供給を増やす場合は、モニターの輝度値を手動で調整することができます。

3つの電源供給レベルがあります。

	輝度値	USBC1からの電源供給
レベル1	0~20	90W
レベル2	21~60	85W
レベル3	61~100	80W

注

- [スマート電源]が有効であるとき、DFP（Downstream Facing Port）が15W以上の電力を使用している場合、USBC1は最大65Wの電力を供給することができます。
- [スマート電源]が無効である場合、USBC1は最大65Wの電力を供給することができます。
- スマート電源と同時にパワーセンサーおよび光センサーを有効にすることはできません。

5. デイジーチェーン機能

DisplayPortマルチストリーム機能を利用することで、複数台のモニターを接続することができます。

本Philipsディスプレイには、DisplayPortインターフェースとDisplayPort over USBC1が搭載されており、複数台のディスプレイへにデイジーチェーン接続することができます。

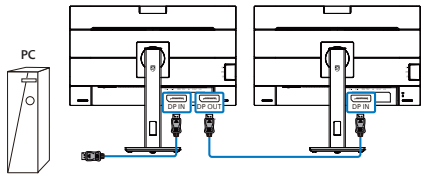
デイジーチェーン接続して、1本のケーブルを通してディスプレイから次のディスプレイへと複数のモニターを使用できるようになりました。

モニターをデイジーチェーン接続する際には、まず以下を確認してください：

PCのGPUがDisplayPort MST（マルチストリームトランスポート）に対応しているか確認してください。

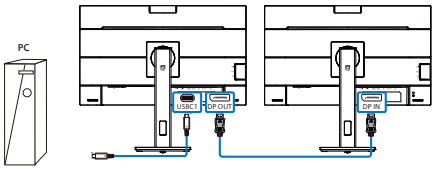
注
- 接続可能なモニターの最大数は、GPUの性能により異なります。
- ご使用のグラフィックカードベンダーをチェックして、グラフィックカードドライバを常に更新するようにしてください。

DisplayPort経由のDisplayPortマルチストリーミング



ディスプレイ解像度	対応できる外部モニターの最大数
	拡張モード （DisplayPort）
1920 x 1080 @ 60Hz	2

USBC1経由のDisplayPortマルチストリーミング

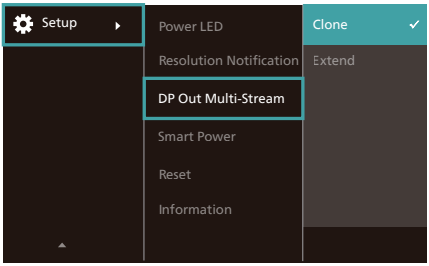


ディスプレイ解像度	リンク速度 *1	USB設定 *2	対応できる外部モニターの最大数
1920 x 1080 @60Hz	HBR2	USB 2.0	2 *3
		USB 3.2	1
	HBR3	USB 2.0	2
		USB 3.2	2

注
1. リンク速度を確認するには： ボタン を押して、[設定] > [情報]を選択してください。画面にはHBR3が表示されます。それ以外の場合、リンク速度はHBR2です。
2. USB設定では、ボタン を押し、[USB設定] > [USB]を選択し、1GのLAN速度に対応するUSB 3.2を選択することが推奨されます。
3. グラフィックカードの能力に応じて、最大3台の外部モニタを接続できます。

DP出力マルチストリームモードの中から1つ選択します：

ボタンを押して、セットアップ > DP出力マルチストリーム > 拡張を選択します。



注

チェーン内のセカンダリモニターが、DisplayPortマルチストリーミングをサポートし、1920 x 1080@60Hzの最大解像度をサポートする必要があります。

6. コンピューター視覚症候群 (CVS) を防止するための設計

Philips 製モニターは、長時間のコンピューター使用により引き起こされる目の疲れを防止するように設計されています。

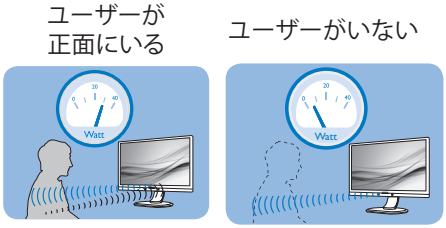
以下の指示を遵守し、疲労を軽減し、仕事の生産性を最大化するように、Philips 製モニターを使用してください。

1. 適切な環境照明:
   - 画面の輝度と同じになるように、環境照明を調整してください。蛍光灯による照明、光を反射しすぎる表面を避けてください。
   - 輝度とコントラストを適切なレベルに調整してください。
2. 良好な作業習慣:
   - モニターを長時間使用すると、目の不快感を引き起こす可能性があります。作業机では、長い休憩よりも、短い休憩を頻繁にとるようにしてください。例えば、2 時間ごとに 15 分休憩をとるよりは、50 ～ 60 分ごとに 5 ～ 10 分の休憩をとるようにしてください。
   - 画面上に長時間焦点を合わせた後は、様々距離にある物を見るようにしてください。
   - そっと目を閉じて、目を回転させて、リラックスしてください。
   - 作業中は、意識して頻繁にまばたきをしてください。
   - そっと首を伸ばして、頭をゆっくり前後左右に傾けて、痛みを軽減してください。
3. 理想的な作業姿勢
   - 目の高さに合わせて、画面の高さを角度を再調整してください。
4. 目に優しい Philips モニターを選んでください。
   - 映り込み防止画面: 映り込み防止画面は、目の疲労を引き起こす迷惑で気を散らす反射を効果的に低減します。
   - ちらつき防止技術により、輝度を調整し、ちらつきを減らし、より快適に視聴することができます。
   - LowBlue (ブルーライト低減) モード: ブルーライトは目の疲れを引き起こす可能性があります。Philips LowBlue により、様々な作業環境向けに異なるブルーライトフィルターレベルを設定できます。
   - 紙文書のように読むことができる EasyRead (簡単読み取り) モードは、画面上で長い文書を快適に見ることができます。

7. PowerSensor™

1 これは、どのように作動するのですか？

- PowerSensorはユーザーの存在を検出するために、無害な「赤外線」信号の送受信の原理で作動します。
- ユーザーがモニタの正面にいる場合、モニタはユーザーが設定した事前定義された設定（輝度、コントラスト、色など）で通常作動します。
- 例えば、モニタが100%の輝度に設定されていると仮定して、ユーザーが席を離れモニタの前にいなくなった場合、モニタは電力消費を最大75%自動的に削減します。



上に示した電力消費は参照目的のみです。

2 設定

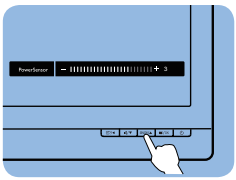
デフォルトの設定

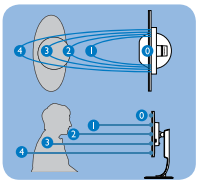
PowerSensor（パワーセンサー）はディスプレイから30 ～ 100 cmの間、およびモニタの左右に5度以内にあるユーザーの存在を検出するように設計されています。

カスタム設定

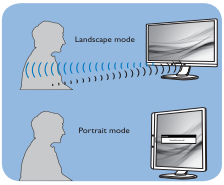
上に一覧した周囲の外側の位置の方を好む場合、最適の検出効率についてより強い信号を選択してください。設定が高いほど、検出信号は強くなります。PowerSensorの効率を最大限に高め適切に検出するために、自分自身をモニタの真正面に置いてください。

- モニタから100 cm以上自分を離して置くことを選択した場合、120 cmまでの距離に対して最大検出信号を使用してください。（設定4）
- ユーザーがディスプレイから100 cm以内の距離にいる場合でも暗い色の衣服を着ていると赤外線信号を吸収する傾向があるため、黒や他の暗い衣服を着ているときは信号強度を強くしてください。





横置き / 縦置きモード



上のイラストは参照目的のみで、本モデルの正確なディスプレイを反映しないことがあります。

3 設定の調整方法

PowerSensorがデフォルトの範囲内でまたは外で正しく作動していない場合、以下の検出を微調整する方法を参照してください。

- OSDメニュー画面を押します。
- 調整バーが表示されます。
- PowerSensor検出調整を設定4に調整して、OKを押します。
- 新しいセットアップをテストして、PowerSensorが現在の位置で適切にあなたを検出するか調べます。
- PowerSensor機能は、横置きモード（水平位置）でのみ作動するように設計されています。 PowerSensorの電源がオンになると、モニタが縦置きモード（90度 / 垂直位置）で使用されている場合自動的にオフになります。モニタがデフォルトの横置き位置に戻ると自動的にオンになります。

注

手動で選択したPowerSensorモードが再調整されない限り、またはデフォルトモードが呼び出されるまで、現在のモードが作動し続けます。 何らかの理由で、PowerSensorが近くの動きに過度に敏感に反応する場合、信号強度を低く調整してください。センサーレンズは清潔な状態に保ってください。センサーレンズが汚れている場合、アルコールで拭いて距離検出精度の低下を回避してください。

8. 技術仕様

画像 / ディスプレイ	
ディスプレイパネルの種類	IPS 技術
バックライト	W-LED
パネルサイズ	23.8" 幅（60.5cm）
縦横比	16:9
画素ピッチ	0.2745（H） x 0.2745（V） mm
コントラスト比 (標準)	1000:1
ネイティブ解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz
最大解像度	1920 x 1080 @ 75 Hz
表示角度	178° (H) / 178° (V) @ C/R > 10 (標準)
画像強調	SmartImage
表示色	16.7M (8 ビット)
垂直リフレッシュレート	48 - 75 Hz
水平周波数	30 - 85 KHz
sRGB	あり
LowBlue モード	あり
EasyRead	あり
フリッカーフリー	あり
入出力	
信号入力ソース	HDMI, DisplayPort, USBC1 (DP Altモード)
コネクター	1 x HDMI 1.4 (HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1 x DisplayPort 1.4 (HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1 x USB-C (アップストリーム, HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1 x USB-C (アップストリーム) 1 x USB-C (ダウンストリーム) 4 x USB-A (ダウンストリーム) 1x RJ45、イーサネットLAN（USB 2.0: 10M/100M; USB 3.0: 1000M） 1 x DisplayPort 出力 1 x オーディオ（入力/出力）：オーディオ出力/マイク入力コンボジャック[1]
入力信号	セパレート同期
USB	
USB ポート	USBC x 1 (ダウンストリーム, 最大15W)[2] USBC1 x1 (アップストリーム、標準 PD 90W、DP Alt モード)[3] USBC2 x 1 (アップストリーム, データ)[4] USB-A x 4 (1つは高速充電BC 1.2対応ダウンストリームに対応)
電力供給	USBC: 最大15Wの電源 (5V/3A) USBC1: USB PD version 3.0, typical 90W (5V/3A, 7V/3A, 9V/3A, 10V/3A, 12V/3A, 15V/3A, 20V/4.5A) USB-A: x1 fast charge B.C 1.2, up to 7.5W (5V/1.5A)

USB SuperSpeed	USB-C/USB-A: USB 3.2 Gen2, 10 Gbps		
ユーザーインターフェース			
ユーザーコントロールキー	/◀ /▼ USER /▲ /OK		
内蔵スピーカー	5 W x 2		
内蔵ウェブカメラ	5.0メガピクセルカメラ(マイクとLEDインジケータ装備)(Windows Hello の場合)		
マルチ画面	PIP/PBP モード、2 ×デバイス		
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語		
その他のユーザーインターフェース	VESA マウント (100 × 100mm)、Kensington ロック		
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、Mac OS X、sRGB、Windows 11/10/8.1/8/7		
スタンド			
チルト	-5 / +30 度		
スイベル	-180 / +180 度		
高さ調節	150mm		
ピボット	-90 / +90 度		

電源			
消費エネルギー	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常取り扱い	22.8W (標準)	22.8W (標準)	22.3W (標準)
スリープ (スタンバイモード)	0.3W (標準)	0.3W (標準)	0.3W (標準)
オフモード	0.3W (標準)	0.3W (標準)	0.3W (標準)
オフモード（AC スイッチ）	0W (標準)	0W (標準)	0W (標準)
熱放散 *	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常取り扱い	77.82 BTU/時 (標準)	77.82 BTU/時 (標準)	76.11 BTU/時 (標準)
スリープ (スタンバイモード)	1.02 BTU/時 (標準)	1.02 BTU/時 (標準)	1.02 BTU/時 (標準)
オフモード	1.02 BTU/時 (標準)	1.02 BTU/時 (標準)	1.02 BTU/時 (標準)
オフモード（AC スイッチ）	0 BTU/時 (標準)	0 BTU/時 (標準)	0 BTU/時 (標準)
PowerSensor	7,0 W (標準)		
電源 LED インジケータ オン	オン : 白、スタンバイ / スリープモード : 白 (点滅)		
電源	内蔵、100-240VAC、50/60Hz		

寸法	
製品 (スタンド付き) (幅 x 高さ x 奥行き)	540 x 500 x 205 mm

製品 (スタンドなし) (幅 x 高さ x 奥行き)	540 x 323 x 51 mm
製品 (梱包付き) (幅 x 高さ x 奥行き)	600 x 406 x 198 mm
重量	
製品 (スタンド付き)	5.50 kg
製品 (スタンドなし)	3.90 kg
製品 (梱包付き)	8.32 kg
環境条件	
温度 (取り扱い時)	0ºC ～ 40ºC
湿度 (取り扱い時)	20%～80%
大気圧 (取り扱い時)	700～1060hPa
温度 (非取り扱い時)	-20ºC ～ 60ºC
湿度 (非取り扱い時)	10% ～ 90%
大気圧(非取り扱い時)	500～1060hPa
環境およびエネルギー	
ROHS	対応
梱包	100% リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFR を含まない筐体
キャビネット	
色	ブラック
仕上げ	テクスチャ

[1] ヘッドセットは、CTIAおよびOMTP規格に準拠するマイクもサポートしています。

[2] USB-C ポート USBC は、ダウンストリームデータ転送と 15W の電力供給を行います。

[3] USB-C ポート USBC1 は、デバイスに応じて 90W 。

[4] USB-C ポート USBC2 は、アップストリーム データ転送のみを行います。

注

1. このデータは事前の通知なしに変更することがあります。 パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
2. 電力供給機能はラップトップの能力に基づきます。

8.1 解像度とプリセットモード

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	720 x 400	70.09
31.47	640 x 480	59.94
35.00	640 x 480	66.67
37.86	640 x 480	72.81
37.50	640 x 480	75.00
35.16	800 x 600	56.25
37.88	800 x 600	60.32
46.88	800 x 600	75.00
48.08	800 x 600	72.19
47.73	832 x 624	74.55
67.50	960 x 1080 PBP mode	60.00
83.93	960 x 1080 PBP mode	75.00
48.36	1024 x 768	60.00
56.48	1024 x 768	70.07
60.02	1024 x 768	75.03
44.77	1280 x 720	59.86
60.00	1280 x 960	60.00
63.89	1280 x 1024	60.02
79.98	1280 x 1024	75.03
55.94	1440 x 900	59.89
65.29	1680 x 1050	59.95
67.50	1920 x 1080	60.00
83.89	1920 x 1080	74.97

注

1. ディスプレイは1920 x 1080 @ 60 Hzの解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。推奨解像度HDMI 1.4/DP/USB C: 1920 x 1080 @ 60 Hz ディスプレイをUSB CまたはDPポートに接続しているとき、ネイティブ解像度で表示されない場合は、解像度をPCから1920 x 1080 @ 60 Hzの最適状態に調整してください。
2. 工場出荷時のデフォルト設定では、HDMIは1920 x 1080 @ 60 Hzの解像度をサポートしています。
3. このモニターのUSB C入力のUSBハブのデフォルト設定は、「High Data Speed」です。サポートする最大解像度は、グラフィックスカードの能力に依存します。お使いのPCがHBR 3に対応していない場合は、USB設定で、High Resolutionを選択してください。サポートされる最大解像度は1920 x 1080 @75Hzになります。 ボタン > USB設定 > USB > High Resolutionを押します

9. 電源管理

PCにVESA DPM準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニタは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。 キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が検出されると、モニタは自動的に 「呼び起こされます」。 次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平同期	垂直同期	使用電力	LED 色
アクティブ	オン	あり	あり	22.8W(標準) 173.0W(最大)	白
スリープ (スタンバイモード)	オフ	なし	なし	0.3W(標準)	白 (点滅)
オフモード（AC スイッチ）	オフ	-	-	0W(AC スイッチ)	オフ

次のセットアップは、このモニタの消費電力を測定するために使用されます。

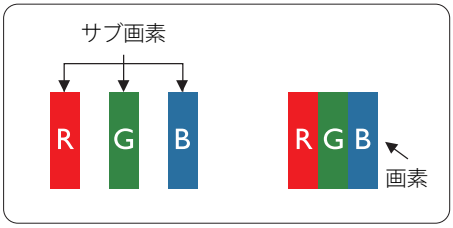
- ネーティブ解像度: 1920 x 1080
- コントラスト: 50%
- 輝度: 50%
- Color temperature (色温度): 6500k (完全な白パターンの場合)
- オーディオ／ USB インターフェース 非アクティブ（オフ）

注
このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

10. カスタマサポートと保証

10.1 Philips のフラットパネルディスプレイ画素欠陥ポリシー

Philips は最高品質の製品を提供するよう努めています。当社は、業界で最も進んだ製造プロセスと可能な限り厳しい品質管理を採用しています。しかしながら、フラットパネルディスプレイで使用される TFT ディスプレイパネルの画素またはサブ画素にやむを得ず欠陥が生じる場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、欠陥があるディスプレイを修理または交換することを保証します。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類の欠陥について許容レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を得るには、TFT ディスプレイパネルの画素欠陥数がこれらの許容レベルを超えている必要があります。例えば、ディスプレイのサブ画素の 0.0004% を超えると欠陥となります。さらに、Philips は特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社と比較して著しく高い品質基準を設けています。このポリシーは世界各国で適用されます。



画素とサブ画素

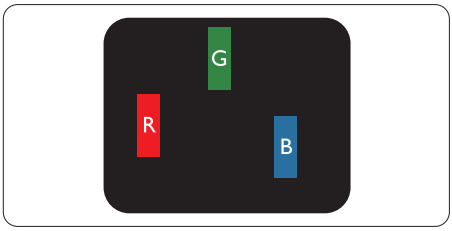
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の3つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3つの色の付いたサブ画素が1つの白い画素として一緒に表示されます。 すべての画素が暗くなると、3つの色の付いたサブ画素は1つの黒い画素として集まって表示されます。 点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の1つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

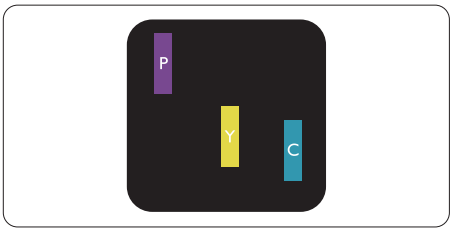
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。 画素欠陥には2つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、明るいドットはディスプレイが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。次に、明るいドット欠陥の種類を紹介します。

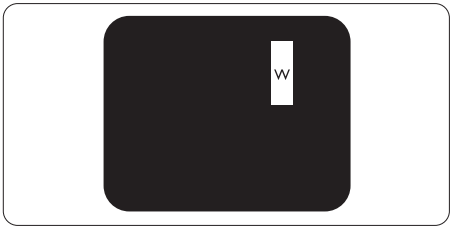


1つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2つの隣接する点灯サブ画素:

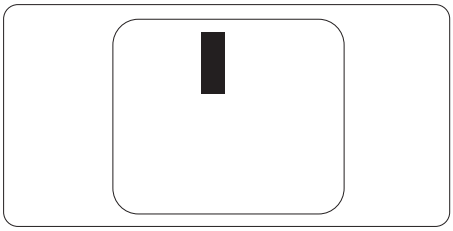
- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)



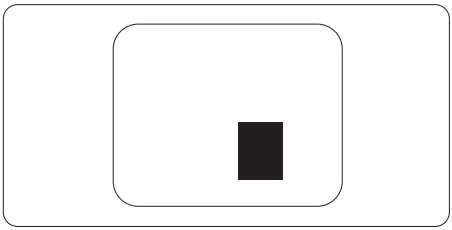
3つの隣接する点灯サブ画素(1つの白い画素)。

注
緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

黒いドット欠陥
黒いドット欠陥は、常に暗いか 「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはディスプレイが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。次に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接
互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philipsでは画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



画素欠陥の許容範囲
保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips フラットパネルディスプレイの TFT ディスプレイパネルの画素またはサブ画素欠陥数が、次の表の許容レベルを超えている必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
2つの隣接する点灯サブ画素	1
3つの隣接する点灯サブ画素(1つの白い画素)	0
2つの明るいドット欠陥の間の距離*	>15mm
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	2

黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	3つ以下
2つの隣接する暗いサブ画素	2つ以下
3つの隣接する暗いサブ画素	0
2つの黒いドット欠陥の間の距離*	>15mm
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	3つ以下

ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	5つ以下

注
1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥

10.2 カスタマサポートと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/support Webサイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りのPhilipsカスタマケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

注

1. フィリップスのウェブサイトのサポートページに掲載されている地域サービスホットラインの重要な情報マニュアルを参照してください。
2. スペア部品は、最初の購入日から最低3年間、または製造終了後1年間のどちらか長い方で、製品の修理に使用できます。

11. トラブルシューティング & FAQ

11.1 トラブルシューティング

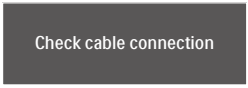
このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

写真が表示されない(電源LEDが点灯しない)
- 電源コードがコンセントとモニタ背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、モニタ前面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

写真が表示されない(電源LEDが白くなっている)
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- モニタケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。 曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります

画面に次のようなメッセージが表示される



- ディスプレイケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。(クイックスタートガイドも参照してください)。
- ディスプレイケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

煙やスパークの明らかな兆候がある
- いかなるトラブルシューティング手順も行わないでください。
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philipsカスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える
- オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。
- 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。
- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- LCD ディスプレイが変化のない静止コンテンツを表示している場合は、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。
- スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。 上で触れた損傷は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。
- PCのディスプレイ解像度をモニタの推奨される画面のネーティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される
- ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用される液晶の通常の特性です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

***「電源オン」ライトが強すぎて、邪魔になる**
- OSDのメインコントロールの電源LEDセットアップを使用して、「電源オン」ライトを調整できます。

更なる支援については、 重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情

報を参照して、Philipsカスタマーサービス担当者に連絡してください。
* 機能はディスプレイにより異なります。

11.2 一般FAQ

Q1: ディスプレイを取り付けるとき、画面に「Cannot display this video mode」(このビデオモードを表示できません) というメッセージが表示された場合は、どうすればよいですか?

A: このモニタの推奨される解像度 : 1920 x 1080

- すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたモニタに接続します。
- WindowsのStart(スタート) メニューで、Settings/Control Panel(設定 / コントロールパネル) を選択します。 コントロールパネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。Display(画面) のコントロールパネル内部で、"Settings"(「設定」) タブを選択します。 設定タブの下の「Desktop Area(デスクトップ領域)」とラベルされたボックスで、スライダを1920 x 1080画素に動かします。
- 「Advanced Properties」(詳細プロパティ) を開き、Refresh Rate(リフレッシュレート) を60 Hzに設定し、OKをクリックします。
- コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが1920 x 1080に設定されていることを確認します。
- コンピュータを停止し、古いモニタを取り外し、Philips LCDモニタを再接続します。
- ディスプレイをオンにしてから、PC をオンにしてください。

Q2: LCD ディスプレイの推奨リフレッシュレートを教えてください。

A: LCD ディスプレイの推奨リフレッシュレートは 60 Hz です。画面が乱れた場合は、75 Hz まで設定し、乱れが消えることを確認してください。

Q3: .Inf ファイルおよび .icm ファイルとは何ですか ? ドライバー (.inf および .icm) インストールする方法は ?

A: これらは、ご利用のモニター用のドライバーファイルです。ご利用のコンピューターは、モニターを初めて設置するとき、モニタードライバー (.inf および .icm ファイル) のインストールを求める場合があります。ユーザーマニュアルの手順に従い、モニタードライバー (.inf および .icm ファイル) を自動的にインストールしてください。

Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか ?

A: ビデオカード / グラフィックドライバとモニタは使用可能な解像度を一緒に決定します。Windows® のコントロールパネルの「Display properties (画面のプロパティ)」でお好みの解像度を選択することができます。

Q5: OSDを通してモニタを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか?

A: ☰ ボタンを押してから、'Setup' > 'Reset' を押してオリジナルの工場出荷時設定をすべてリコールします。

Q6: LCD画面はきっかき傷への耐性がありますか ?

A: 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖た物体から保護するようにお勧めします。モニタを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていないことを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。

Q7: LCD 表面はどのようにして洗浄すればいいのですか ?

A: 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。

Q8: モニタの色設定を変更できますか？

A: はい、OSD コントロールを介して、次の手順で色設定を変更できます。

- 「OK」を押してOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューを表示します
- 「下矢印」を押してオプション「Color(色)」を選択し、「OK」を押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。
  1. Color Temperature(色温度)：ネイティブ、5000K、6500K、7500K、8200K、9300K、11500Kの6つの設定があります。5000K範囲で設定されている場合、パネルには「温かい、赤-白色調で」と、また11500K温度範囲では、「冷たい青-白色調」というメッセージが表示されます。
  2. sRGB：これは、標準設定で、異なるデバイス(デジタルカメラ、モニタ、プリンタ、スキャナなど)間で色が正しく変換されることを確認します。
  3. User Define(ユーザー定義)：ユーザーは赤、緑、青色を調整することで、お気に入りの色設定を変更できます。

注
加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り(ケルビン度)によって表されます。2004Kなど低いケルビン温度は赤で、9300Kなどの高い温度は青です。6504Kでの中間温度は、白です。

Q9: LCD ディスプレイを PC、ワークステーション、Mac に接続できますか？

A: はい、できます。すべての Philips LCD ディスプレイは、標準の PC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Mac システムにディスプレイを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips 販売担当者にお問い合わせください。

Q10: Philips LCD ディスプレイはプラグアンドプレイ対応ですか？

A: はい。ディスプレイは、Windows 11/10/8.1/8/7 とのプラグアンドプレイに対応しています。

Q11: LCD パネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか？

A: 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。
ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
LCD ディスプレイが変化のない静止コンテンツを表示している場合は、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。

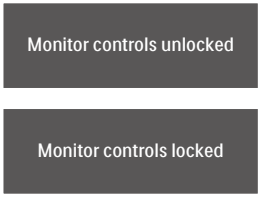
警告
ひどい「焼き付き」または「後イメージ」または「ゴースト像」症状は消えずにのこり、修理することはできません。これらによる損傷は保証には含まれません。

Q12: 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか？

A: お使いの LCD ディスプレイは 1920 x 1080 のネイティブ解像度で最高の性能を発揮します。最高の表示品質を得るには、この解像度を使用してください。

Q13: ホットキーを解除 / ロックする方法は?

A: OSD をロックするには、モニタがオフの状態から、☰/OK (メニュー) ボタンを押し続けて ⏻ 電源ボタンを押してモニターをオンにします。OSD をロック解除するには、モニターがオフになっている間に ☰/OK (メニュー) ボタンを押し続けて ⏻ 電源ボタンを押してモニターをオンにします。



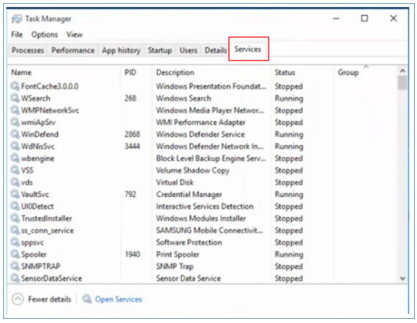
Q14: EDFUについて記載された重要な情報マニュアルをどこで入手できますか?

A: 重要な情報マニュアルは、Philipsウェブサイトのサポートページからダウンロードできます。

Q15: モニターのWindows Helloウェブカムが検出されないのはなぜですか?また、顔認識オプションがグレイアウトされているのはなぜですか?

A: この問題を修正するには、次の手順に従い、ウェブカム装置をもう一度検出する必要があります:

1. Crtl + Shift + ESC を押して、Microsoft Windows タスクマネージャーを起動します。
2. [サービス]タグを選択します。



3. 下にスクロールして、[WbioSrvc](Windows バイオメトリックサービス)を選択します。ステータスに「実行中」と表示されたら、まず、右クリックしてサービスを停止し、次に、サービスを手動で再起動します。
4. その後、サインインオプションメニューに戻り、Window Hello ウェブカムを設定します。

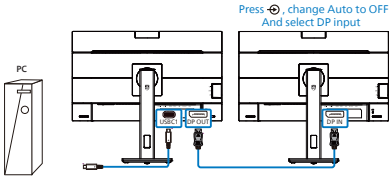
Q16: USB-Cでデイジーチェーンを行った後、接続された入力ソースに自動的に切り替わらないのはなぜですか?

A: これは、複数の入力ソースにプライマリモニターを同時に接続しているためです。プライマリモニターを USB-C によりノートパソコンに使用するときは、デイジーチェーンをセカンダリモニターに使用してください。HDMI または DisplayPort からコンテンツを表示する場合は、ノートパソコンがスタンバイモードに移行したら、⏻ を押して、信号の入力ソースを変更してください。

Q17: モニターをデイジー チェーン接続したときにモニターに信号が表示されない場合はどうすればよいですか?

A: 信号がない問題を解決するには、次の 2 つの方法があります:
1) DisplayPort 信号出力を備えたモニターで、OSD(オンスクリーン ディスプレイ)メニューボタンを押します。[入力] を選択し、[自動] を [オフ] に変更してから、[DP(DisplayPort) 入力] を選択します。これにより、信

号が次のモニターに通過できるようになります。両方のモニターが正しく表示されるようになります。
2) 1 台目と 2 台目のモニター間のビデオケーブルを外し、2 台目のモニターをコンピュータに直接接続します。2 台目のモニターで OSD メニューボタンを押し、[入力] を選択し、[自動] を [オフ] に変更し、[DP 入力] を選択します。1 台目と 2 台目のモニターをコンピュータに再接続すると、デイジーチェーン機能が有効になります。



11.3 Multiview FAQ

Q1： PIP サブウィンドウを拡大できますか？

回答： はい、できます。3 つのサイズから選択できます。 [Small](小)、[Middle](中)、[Large](大)。 を押して OSD メニューに入ることができます。 [PiP / PbP] メインメニューから優先する [PiP Size](PiP サイズ) オプションを選択してください。

Q2： ビデオから独立して、オーディオを聴くにはどうすればいいのですか？

回答： 通常、オーディオソースはメインのピクチャソースにリンクされています。 オーディオソースの入力を変更したい場合、 を押して OSD メニューに入ることができます。 [Audio](オーディオ) メインメニューからお気に入りの [Audio Source](オーディオソース) オプションを選択してください。

ディスプレイを次にオンにするとき、ディスプレイはデフォルトで最後に選択されたオーディオソースを選択します。 これを再び変更したい場合、上のステップを行ってお気に入りのオーディオソースを新しく選択して、「デフォルト」モードにする必要があります。

Q3： PIP/PBP を有効にすると、サブウィンドウがちらつくのはなぜですか？

回答： サブウィンドウのビデオソースが i-timing(interlace timing/ インターレースタイミング) になっているためです。サブウィンドウの信号ソースを P-timing(progressive timing/ プログレシブタイミング) に変更してください。

2022©TOP Victory Investments Ltd。無断複写・転載を禁じます。

この製品は、Top Victory Investments Ltd.によって製造され、その責任下で販売されており、Top Victory Investments Ltd.は、この製品に関する保証人です。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン: **M1124BU5301E1WWT**